

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリー：変化をもたらす

Rotary : Making a Difference

R I 会長 イアン H.S. ライズリー



少年・少女の夢再び

2017~2018

富津中央RC会長 石渡 鋼

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2502 第11回例会 2017. 9. 28 雨

点 鐘：石渡 鋼 会長

進 行：大網庄一郎 副 SAA

ソング：それでこそロータリー

会長挨拶

石渡 鋼 会長



皆さんこんにちは。今日は今朝がたの大雨からして出席がどうかと懸念しましたが、このようにいつも変わらぬ顔を合わせて頂き有難う御座います。耳の悪い私ですが、あの雨音と防災無線で目を覚ましましたが、何せ漆黒の中の大雨、じっと夜明けを待つしかありませんでした。ご承知の方も多いと思いますが何せ我家は山の下、大雨の度に裏山の排水溝のチェックが必須なのであります。昔からの家はなるべく庭を広くとり、山の根に建ててあります。それには訳があり、収穫した米、粃を干すためのムシロを一枚でも多く干せるように建物を寄せたのです。それが近年各地での土砂崩れ被害の多発によ

り、市民の安全を守ろうと法律が制定されるようになってきました。その一つがかなり前からある県の、俗にいう崖条例です。勾配が 30 度以上の崖傍の住居に於いては〇〇m離しなさいとか、堅固な壁を造れば良しとか、詳しくは渡辺哲夫土木指導員に伺えば教えて頂けるでしょう。

偶々我が家に先週「県土木の代理業者」なる方がきて、家の裏を近い内に簡易測量させてほしい旨の話をされました。チラシ文によると国交省が「土砂災害防止法」に基づき、全国の危険個所を「土砂災害警戒区域」に指定し、各種安全の規制を図る為の調査のようです。安全はよろしいが規制となれば猪などの獣害と相まって、益々過疎化に拍車がかかるのではと思った次第です。

幹事報告

平野安照 幹事



〒293-0043 富津市岩瀬 841-3

いち川旅館 Ichikawa ryokan

841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,

Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178

URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>

Mail home@futtsuchuo-rotary.org



1. 10月のロータリーレート 1ドル=112円
2. 第6回日台ロータリー親善会議の案内(回覧)
3. 吉野社協 ふれあいの集い
日時:10/1(日) 13:00 場所:吉野小体育館
4. 木更津RC重城会長より、前回例会出席にかかる御礼状受領
5. 木更津RCより例会変更のお知らせ
10月12日(木)休会(定款第8条第1節C項)
6. 君津RCより例会変更のお知らせ
10月16日(月)例会を、10月14日(土)に変更
親子体験枝豆収穫祭 場所:三船山畑所
7. 配布物:ロータリーの友10月号

委員会報告

高橋裕之 会員

袖ヶ浦RC主催第4分区麻雀大会が開催されます。

期日:11月18日(土) 場所:未定

参加者:榎本、伊藤、千葉、高島、高橋

『ふれあいの集い』にボランティア参加します。

期日:10月1日(日) 場所:吉野小学校

演目:日舞(春夏秋冬屋形船)

演奏(雨の御堂筋・ジュリアに傷心・糸)

合唱(みかんの花咲く丘・ふるさと)

石渡会長挨拶もあります。都合のつく方は、お立ち寄りください。

神子勝美 親睦担当部長



10/12の句会夜間例会ですが、三枝会員と相談して、来週の例会で「お題」を発表しますので、皆さんお楽しみに。

研修計画

千葉一利 研修リーダー



先週は、研修計画の第一回で、志波会員にお願いしました。貨幣経済の初歩的問題で話をして貰うつもりでしたが打合せが不十分で、それが出来ませんでした。後日お話をして貰う予定です。

今日についてですが、「これからの教育のあり方」ということで、高島会員にお願いしました。彼は現職当時、県教育長の出先機関である、今の教育事務所の指導室長までやり、教育界に名の通った素晴らしい教師でした。

そうした元教師の教育観を聞きたいと思い計画したところ、市教委に頼んでであると聞き、がっかりしていました。そうしたら、何と今日、大雨で市教委が来られなくなったと聞き、実は喜んでいて次第です。天が味方してくれました。良い話があると思います。お聴きください。

(卓話終了後、謝辞を述べました。)

卓話

『これからの教育のあり方』

高島治雄 会員



このテーマのプログラムのために、市教委の職員に卓話をお願いしましたが、本日の100ミリに達す

る大雨のため、突然学校管理上出席が出来ないと
のドタキャンがありました。いたしかたなく、私が代
理を務めます。

とは言え、私が教育現場を離れて25年、この間
の急激な社会の発展とそれに伴い教育に求められ
る方法・内容も著しく変化し、現在の教育事情もし
かと把握していない者がお話するのはおこがましい
のですが、相変わらずの古き教育観に基づいた、
普遍性のない私見としてお聞き取りください。教育
の話は面白くありませんよ。

私がこのタイトルのお話しを進めるに辺り、三つ
の視点からお話したいと思います。

- 1) これからの先生のあり方
- 2) これからの学校のあり方
- 3) これからの家庭教育のあり方

の三点です。

最初の『これからの先生のあり方』について
であります。子供達には、理解力のある子、ち
よっと鈍い子、スポーツに優る子、発想がよい
子、貧しい子等、多種多様な子どもたちがいま
す。一方、I T、スマホなど急激な発達により、
情報技術の多様化にともない、瞬時に知識が得
られるようになりました。その反面、人と人との
直接的なコミュニケーションの場と機会が少
なくなっています。このような激動的に変化し
つつある社会にあって、塾の先生のように唯学
力を付ける、偏差値を上げる、教え込みの教師
はこれからの教育には必要ないと思います。そ
れについて行けない子どもが置き去りにされが
ちです。まずは生まれ育ってきたいろいろな条
件を踏まえ、一人一人の子どもの長所・可能性
を見つけ伸ばす教育の方向が、これからの教師
に求められると考えます。その為には、今まで
以上に教育方法・手段の多様化が求められます。
子どもを暖かく見つめる観察眼に秀でたる教師
でありたいものです。

もう一つ、これからの教育で必要なことは、
前述したように、人と人との直接的コミュニケ
ーションの場と機会が失われつつある一方、こ
れから益々グローバルな社会・世界になってき

ます。そのような時に必要なのは、自分の考え
を相手にきちんと伝える能力、相手の意見を受
け止める寛容さ、そして修正し相手を説得する
積極さが大切です。その為に教育の場で、ディ
スカッションする場と機会を意識的に創り出し、
その指導を図ることが求められると思います。

次に二つ目、これからの学校経営のあり方
について、自分の反省をしながら申し上げます。

これからの教育にどんなことが求められ、そ
れをふまえてこの学校の子どもをどのような子
に育てたいか、そして地域のニーズはどのよう
なことを学校に求めているのか。これらのこと
を校長、教頭のリーダーシップのもと、しっか
りとした教育への先見性と理論付けをして、そ
の為の組織づくりと強い実践力を持ち、保護者
への説得と協力のもとに、その学校・学校でのユ
ニークな教育を展開して行きたいものです。

今、全国的に乱立している塾のように、唯学
力を付ける偏差値を高めるための教え込み一方
の学校教育は避けたいものです。

そう言う意味では、大阪府和泉市のある小学
校が展開している、地域のニーズに合った高齢
者家庭への子どもたちの定期的訪問による語り
、遊び、食事会等々の高齢者との触れ合いの
校外学習の実践は、ユニークなものの一つだと
思い紹介します。

最後に、これからの教育に求められることは、
家庭教育のあり方である。

私は趣味で、家族と共に80歳まで、良く海
外旅行に出かけました。そこで、人、建造物、美
しい自然、国民性等々に触れて参りました。こ
こで、ちょっとしたことですが、二つの出会い
を紹介しましょう。

アメリカのミシガン州の州都ミネアポリスで
のバス停の出来事です。私の前に父と少年の二
人連れがバスを待っていました。バスが停まり
ドアが開くと、その少年がすぐバスに乗り込み
ました。するとその父親が、自分の子を外に連
れ出し、降りる人がいなくなってから乗るのが
マナーだと、厳しく諭した後二人で乗り込んだ

のです。

また、ウィーンでの光景です。市電に乗り市内観光に出かけました。車内はやや満席で、そばに一人の少年が座り、その側に父親が立っていました。そこに一人の赤ちゃんを抱いた婦人が乗り込んできたのですが、すぐさまその少年が席を立ち、その婦人に席を譲ったのです。二つの光景は、あたりまえの父と子の姿かも知れませんが、私は少なからずカルチャーショックを感じました。父親の教育力は凄いなど…

こんな話があります。同志社大学を創設した新島襄がドイツに滞在中に、ある教授から「日本では就学前にどのようなところでモラルの教育をしているのか」と。ドイツでは小さい時から、両親に連れられて教会に行きそのプロセスの中でモラルが育てられると。新島は、はたと返答に窮し、考えた末に日本には「武士道」がありますと答えたというのです。もちろん、始めは中世にあって武士を中心にした「武士道」でしたが、その後変遷を重ね儒教の教えが中核となって、後に名著新渡戸稲造の『Bushido-The Soul of Japan (武士道－日本の魂)』が産まれるのですが、新島はこれを指したのです。ご存じのように、これが後に軍国教育に乱用されてしまいますが。

私はこの「武士道」を復活させるべきだとは毛頭思っておりません。私が言いたいのは、社会にはルールが必要です。モラルが必要です。学級には級訓があります。学校には校則があります。同様に、是非家庭でも基本的に、これだけは守ろうねというモラル(家訓)が必要だと言いたいのです。それが親の教育力だと思います。



ニコニコBOX

神子勝美 親睦担当部長

石井智信 写真をいただいて

榎本守男 9/26、3人目の孫が誕生しました。
名前、協議中です。

高島治雄 卓話をさせていただきます。

千葉一利 研修計画の卓話、ありがとう。

石渡 鋼 雨が降ったおかげで、良い話が出来ました。

合計 5, 000円

出席報告

平川恵敏 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	33/30	22	8	1(1)	73.33%
前回	33/31	24	7	1(1)	77.42%
前々回	32/32	28	4		87.50%

編集後記

高橋裕之 会報担当

9月の会報を担当させていただきました。

会報を作成していると、例会を追体験できるのですが、あらためて聞き逃したことも確認出来て、様々な発見があります。

特に卓話などは、卓話者の思い・考え方・経験などが心に伝わってきます。

会報を隅から隅まで読む会員もいるとは思いますが、会報を作成することにより、例会の楽しさや必要性が、より一層感じられます。

今まで会報担当をやったことのある会員は、6~7名だと思いますが、出来れば全会員が担当できると良いのではないかと思います。

例会終了後、創立50周年記念誌の打合せがありました。こちらも、出来るだけ多くの会員に携わっていただけると良い気がします。